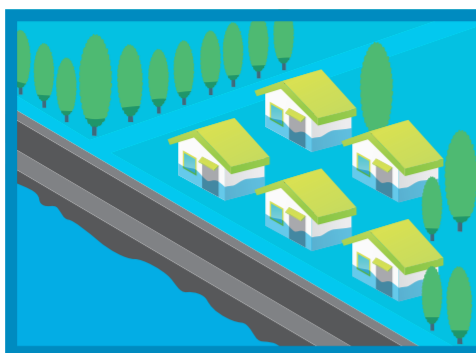


習志野市 内水ハザードマップ

内水ハザードマップとは

下水道の雨水排水能力を上回る降雨が生じ、雨水を河川等の公共の水域に放流できない場合に、内水はん濫によって浸水する区域を示したマップです。



内水はん濫とは

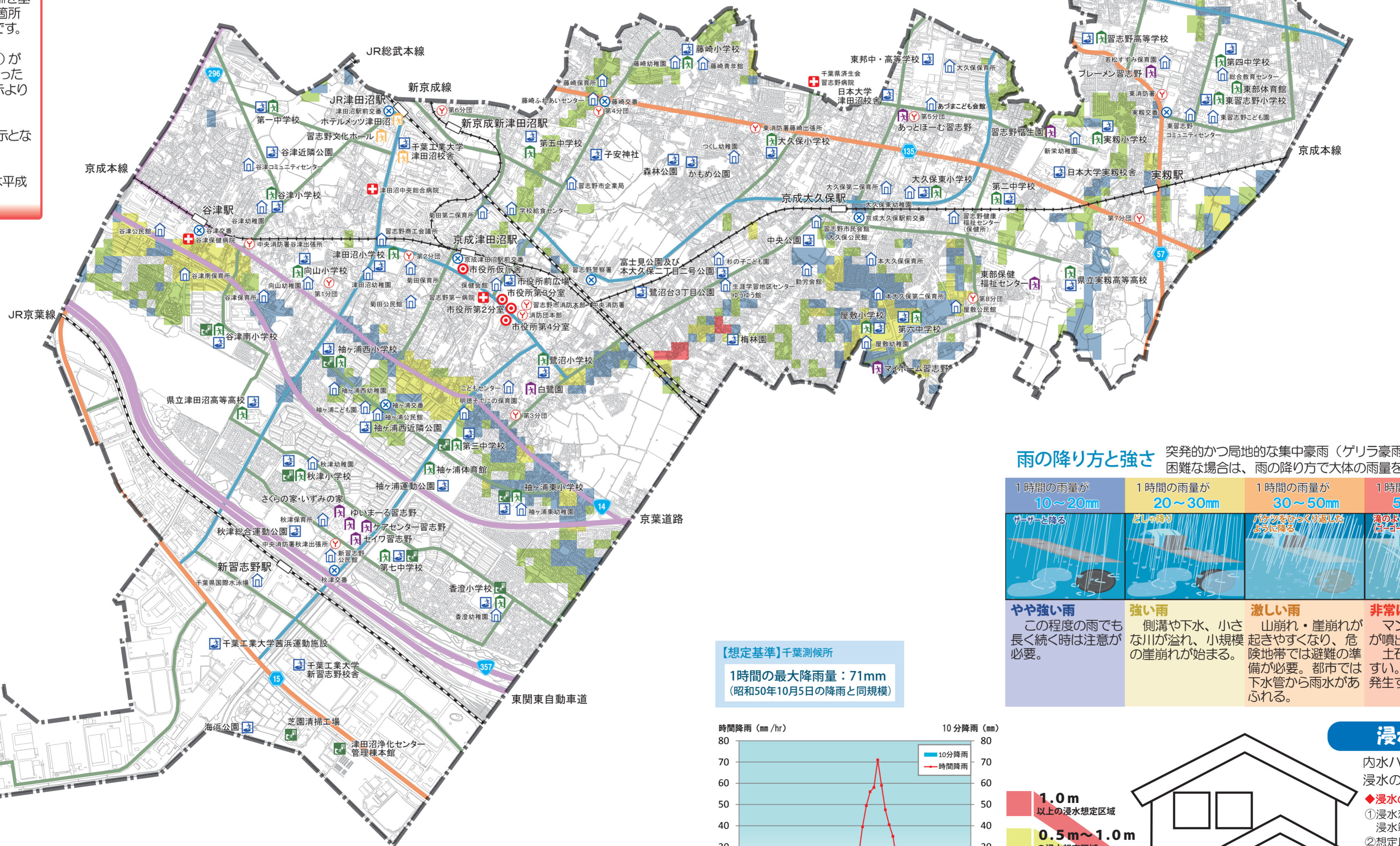
河川から水があふれるのではなく、**降った雨を河川等へ排水しきれなくなり、下水道や側溝などから水があふれること**です。

・このマップは昭和50年10月5日に千葉測候所で観測された、過去最大降雨である1時間あたり71.0mmを基に浸水想定と過去の浸水被害箇所を重ね合わせて作成したものです。

・道路排水施設（U字溝・集水柵）が落ち葉などにより流れにくくなった場合、浸水区域や浸水深が表示より大きくなる場合があります。

・表示間隔は50m四方が最小表示となっています。

・このマップの下水道管の情報は平成22年度末のものです。

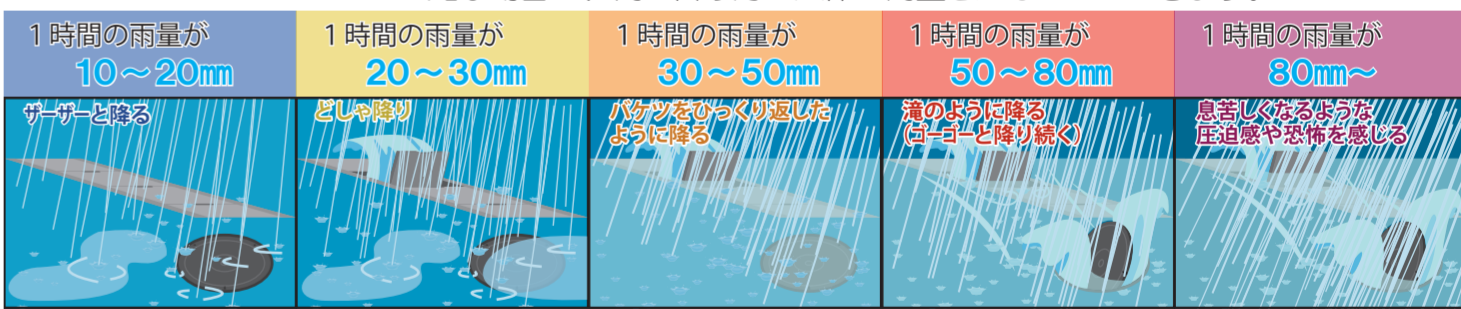


- ### 凡例
- 避難所
 - 一時避難場所
 - 福祉避難所
 - 帰宅困難者向け一時滞在施設
 - 津波一時避難施設(津波避難ビル)
 - 公共施設
 - 市役所
 - 警察署・交番
 - 消防署・消防団
 - 救急病院
 - 緊急輸送道路(国道・自動車専用道路)
 - 緊急輸送道路(県道)
 - 災害時重要路線(市道)
 - その他輸送等に必要となる路線(県道・市道)

- ### 内水はん濫(浸水深)
- 1m以上
 - 50cm以上1m未満
 - 20cm以上50cm未満
 - 10cm以上20cm未満

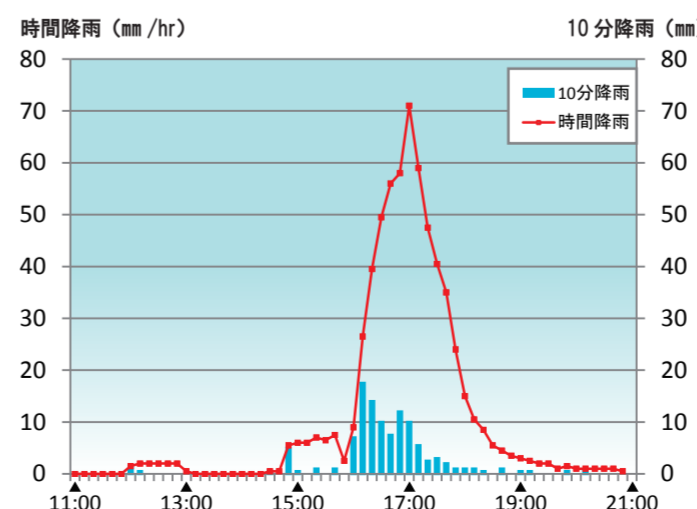
※浸水深10cm未満の箇所は表示していません。

雨の降り方と強さ 突発的かつ局地的な集中豪雨(ゲリラ豪雨)に関する情報を入手することが困難な場合は、雨の降り方で大体の雨量を知ることができます。



- やや強い雨**
この程度の雨でも長く続く時は注意が必要。
- 強い雨**
側溝や下水、小さな川が溢れ、小規模の崖崩れが始まる。
- 激しい雨**
山崩れ・崖崩れが起きやすくなり、危険地帯では避難の準備が必要。都市では下水管から雨水があふれる。
- 非常に激しい雨**
マンホールから水が噴出する。土石流が起こりやすい。多くの災害が発生する。
- 猛烈な雨**
猛烈な雨によって視界が白くなる。雨による大規模な災害の発生するおそれが高く、厳重な警戒が必要。

【想定基準】千葉測候所
1時間の最大降雨量：71mm
(昭和50年10月5日の降雨と同規模)



浸水の深さについて

内水ハザードマップでは、予想される浸水の深さを色別で示しています。

- 1.0m以上の浸水想定区域**
- 0.5m~1.0mの浸水想定区域**
- 0.2m~0.5mの浸水想定区域**
- 0.2m未満の浸水想定区域**

◆浸水の範囲に関する注意点

- ①浸水想定区域は、実際の内水はん濫による浸水範囲と異なる可能性があります。
- ②想定以上の内水はん濫が発生した場合、このマップで浸水していない箇所でも浸水する可能性があります。

大人の腰程度の高さ
大人の膝下程度の高さ

